

掲示板

あたりまえが
いつのまにやら
おかげさま

碧南市西光寺掲示板より



赤羽別院報 第8号

発行所

真宗大谷派 赤羽別院 親宣寺

発行人 野々山 洪美

愛知県幡豆郡一色町赤羽上郷14

Tel. Fax (0563)72-2308

印刷/佛教育広報センター

シリーズ

人間模様

8

西尾市 永谷和子さん

重度障害の難病と闘いながらも、自らの道を求め、切り拓いた娘の由美さん。その生き様は新聞報道等で紹介され、多くの人達に共感を与えた。惜しくも二年前に亡くなられたが、輝くいのちを精一杯生き抜いた生涯を支え、見守り続けた母親の和子さんに熱い想いと、ご自分の歩みなどを語っていただいた。

和子 「私は何のために生まれてきたのか」と。娘が養護学校を卒業して悩んでいた頃のことばです。時間の感覚もなくなり、生きることへの意味を見失いかけて悶々とした日々を過ごすなかで、以前から興味のあった英語を学ぶことで、少しずつ自分を取り戻し、前向きに生きるようになったんですよ。

—英語を通して世間との交流を深めていかれたわけですね。
和子 そうですね。殆ど独学でテレビ、ラジオの英会話講座からお力添えて世に出ることができ、お話をさせて頂く機会もできたのですからね。

—福祉に関するの考えを伺いたいですか。
和子 行政は障害者への認識をもっと深めて欲しいですね。

例えば、スロープやトイレ、エレベーターにしてもただあればいいというだけでなく、利用者にとって使いやすいものを作ってほしいですよ。



—娘さんは変わっていかれましたか。
和子 自分の世界が広がり、人間として成長したんじゃないですか。娘には「障害者だから」といつて甘えずに、応援して下さい方々のために向上心と責任と感謝の気持ちを忘れてはいけません」と言いました。皆さんの

—現在、お母さんは「歩々の会」の代表を務めておられるそうですが。
和子 はい。この会は常時介護を必要とする重度障害者の集まりで、ふるさとに密着した「小規模身体障害者療護施設」の設置を目的としています。

同じ社会の一員として家の外でも活動の場ができ、十分な介護も受けられる施設作りを目指しています。

—今、改めて娘さんの人生を振り返ってどう思われますか。
和子 娘の好きなことは「念ず

蓮如絵伝を読む⑧

—出口坊舎建立—

文明七年(一四七五)、再び畿内に戻られた蓮如上人は、やがて河内国出口(現枚方市)に居を定め、石見入道(光善)が寄せた地に坊舎を建立することとなった。ここは方二町の沼地であり、ここを埋めることになったが、ある夜一人の女性が上人のもとに現れた。

「私は五百年來ここに住む竜女。ここを埋められては住処を失います」上人は「沼の一部を残す故、永劫退転なく弘法の守護神となるべし」と竜女に申し渡した。彼女は善知識に遇い得たことを涙ながらに喜んだ。

南無阿弥陀佛となふれば
難陀跋難大竜等
無量の諸神尊敬し
よるひるつねにまもるなり
と、宗祖の現世利益和讃がその

れば花ひらく」の如く、英語に出会い、パソコン通信で多くの友人にも恵まれ、念願のアメリカへも行くことができたんです。娘は本当に生き生きと輝いた人生を送ることができたと思っています。

碧南 青木 馨



背景となっている伝説である。名号の功德は諸神・大竜にも及ぶが、西端にも類似の話が伝わっている。

赤色赤光

最近読んだ本の紹介をします。詩集『さびしいときは心のかぜです』原田大助/山元加津子共著(樹心社刊)。

その中の一節です▼この前、学習発表会の時「星の王子さま」をして「大事なものはなんだろう」という劇をしたんや/勝は王様になって「大事なものはえらいことや」って言ったんや/そやかなや/やっちゃんは学者になって「大事なものは勉強や」って言ったんや/しげは「商人になって「大事なものはお金や」って言ったんや/でも違うな/俺はな。パイロットの役でこう言ったんや「大事なものがわかったよ」「大事なものは、君を好きだ」という気持ちだよ/そやろ 好きってすごいんや/で きんこともできてしまう▼大事なものがわからない。生きていく意義が見つからない。大人も子供も、現代を生きる私達を覆う闇の深さは、他人を信じられず、自分自身をも疑う深さでもある▼大助君の詩は、まるで春風のような心地良い感性で、好きになることの大切さと、気持ちを伝えようとするこの尊さを教えてくれる。また、本当に大事なものを失わせられるものが何なのか、考えさせられる▼例えばそれは、世間体や常識であったり、お金で大体の物が買えてしまうというムダに便利な社会だったたりするのではないかと▼大助君が最後に言う「みんなも好きになつたらええで」(N)

赤羽別院 暁天講座

8月20日・21日
朝5時30分〜7時
安城市本證寺 小山正文師
豊橋市仁長寺 久我 順師

ゴボちゃん



ウォッチング 門徒のたしなみ(2)

ウォッチング

青春時代に聴聞したことが大人になってからどのように感ぜられたのか、33年前に結成された安専寺仏青会員に伺った。ご住職が声をかけて下さり、急遽、平松(旧姓杉浦)さん、鈴木さん、矢島さんが駆けつけて下さった。会は近隣の男女高校生で結成され、20名が隔週土曜の夜7時から、住職のもとに集まった。機関誌「サンガ」には、真剣に

聴聞にきわまる

蓮如さんは「一度のちがいが、一期のちがいがな。一度のたしなみが、一期のたしなみなり」だから「わかきとき、仏法はたしなめ」「仏法には世間のひまをかきまてきくべし」と常々諭された。

碧南蓮成寺お母さんの集い

夜七時四十分、蓮成寺の境内に到着した時には、澄んだお勤めの声が響いていた。歴史を刻んだ長屋門の一室に、住職を取り囲むようにして若いお母さんたちの姿があった。月一回法話とメンバーの発言が行き交うという。この日は、早速参加者から「念仏を申す心」について

碧南棚尾安専寺仏教青年会

昭和41年〜昭和49年

ご住職と発起人の藤井(旧姓小笠原)さんが大阪の全国大会に参加して、是非とも寺で高生生の集いをお願い立ち、会が始まった。一人の女子高生の仏法との出会いがきっかけだった。機関誌「サンガ」には、真剣に



25年目の同窓会

平松さんは、「生き方について真剣に話した。それが今も考え方のものになっていると思う」と。鈴木さんは、「同世代の者が、悩みを本音で語り合った。遊びでの友達とは違う、本当の友を得た。子育てでは、話し合った経験によって、子の自主性を

の質問から封が切られた。住職の応答の最後には逆に出席者に対して質問があびせられる。「煽りの文化、頑張る文化の指摘もあるがどうなのか」と。話はいよいよ熱っぽく話し合いが続く。それぞれが体験を通して確かめ合う。

平成10年度 赤羽別院経営部歳入歳出決算書 H10.4.1~11.3.31
 歳入額 9,188,729円
 歳出額 7,669,099円
 差引額 1,519,630円

【歳入】			
項	目	収入額	備考
1 信託収入	1 読経志	751,000	報徳会 159,200
	2 志納金	2,011,500	秋彼岸 392,300
	3 養親	456,650	報徳講 494,100
	4 諸志	713,750	双全講 120,600
	5 永代経志	100,000	同地金 168,400
	6 会費収入	113,000	春彼岸 395,900
2 墓地礼金		2,316,000	281,000
1 墓地使用礼金		2,000,000	諸志志 (1-4) 内訳
	2 墓地管理礼金	316,000	「御坊」協賛志 283,000
3 回付受金		50,000	一般志志 430,750
1 積立金会計回付受金		0	会費収入 (1-6) 内訳
	2 教区回付受金	50,000	晩天講座 71,500
4 雑収入		710,492	聖典学習会 41,500
1 雑収入		710,492	雑収入 (4-1) 内訳
	1 繰越金	1,966,337	報徳会所礼 100,000
1 繰越金		1,966,337	一般会場礼 184,000
合 計		9,188,729	電力配当 274,900 その他 151,592

【歳出】			
項	目	支出額	備考
1 式務費	1 荘厳費	239,529	法要費 (1-2) 内訳
	2 法要費	1,931,592	報徳会 199,349
	3 諸法要費	547,937	秋彼岸 512,486
2 教化費	1 教化費	502,063	報徳講 496,628
	2 文書伝道費	501,785	双全講 195,158
3 運営費		3,133,587	春彼岸 527,971
1 会議費		70,487	諸法要費 (1-3) 内訳
	2 給与費	1,899,600	修正会 82,291
	3 備品費	356,787	法務手当 440,500
	4 負担費	77,300	その他 25,146
	5 雑費	90,000	教化費 (2-1) 内訳
	6 諸費	639,413	阿彌命日 118,234
	7 旅費	0	晩天講座 133,022
4 管理費	1 営繕費	812,806	聖典学習会 141,342
	2 防災費	64,000	職員研修 101,640
	3 管理諸費	301,587	その他 7,825
5 積立金		0	
6 子備費	1 積立金	0	
	1 子備費	0	
合 計		7,669,099	

平成10年度 赤羽別院積立金会計決算書 H10.4.1~11.3.31
 (1)現金勘定 収入合計 14,931,407円
 支出合計 0円
 差引残額 14,931,407円

(2)有価証券				
銘柄	前年度持株	本年度持株	総持株	額面
1 東京電力	2,840	28	2,868	500
2 関西電力	1,916	89	2,005	500
3 九州電力	619	6	625	500
合 計	5,375	123	5,498	

こんな活発な同朋会に久しくお目にかかったことはない。取材に行った私達が隣室にいることなど全く意識されていないとさえ感じさせる。誠に爽やかな二時間であった。(T・O)



東本願寺両堂の瓦、百二十年ぶりの里帰り
 本願寺は、過去四回の火災にありその都度焼失、現在の両堂は明治十三年から明治二十八年にかけて再建が行なわれた。屋根瓦二十八万八千枚が西尾市志根野町で焼かれ、寄進された。これを記念して製瓦場跡地に記念碑を建立し、三河門徒の偉業を後世に伝えてきた。
 昭和三十年、志根野製瓦場記念碑保存会が設立され、今日まで毎年記念碑法要を勤めている。この度、本山に保管されていた当時の瓦のうち、十二枚が里帰りした。

「赤羽御坊」発行の協賛志を募集しています。

情報開示の一環として別院会計の決算書を掲載した▼繰越金を入れない単年度では44万円強の赤字。墓地礼金に依存して運営しているのが現状▼しかし新御堂建立のおかげで教化事業は充実しつつある▼様々な事情を乗り越えて念仏の道場を永劫に護持していきたい。(門徒T)

- 「赤羽御坊」協賛者芳名
- ▼西尾市了願寺▼西尾市聖運寺
- ▼吉良町正向寺▼一色町長寿寺
- ▼安城市本龍寺▼西尾市上矢田町浄徳寺▼一色町深見脩▼西尾市唯法寺▼一色町信証寺▼碧南市西光寺
- ▼以上初披露分
- ▼教育広報センター▼栄光寺▼願正寺▼興蓮寺▼お仏壇の円相▼本浄寺▼養林寺▼光明寺
- ▼以上前披露分
- 編集後記